

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て支援事業 こども-02 子育て支援事業 □支援部門						
主管課	こどもみらい課	関連課	こども相談課・青少年課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	子育て支援情報を収集・提供・発信するほか、子育て支援行事等を実施する。つどいの広場事業等の実施や、子どもが安全・安心して生活ができる環境づくりを行う。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源 状況	決算値(千円)	23,194	24,060	23,055			
	(国・県)	3,291	2,577	1,300			
	(負担金等)						
	(一般財源)	19,903	21,483	21,755			
	人員配置数	1.5	1.5	1.5			
	人件費(千円)	13,911	14,563	14,301			
	協働の パートナー	子育て支援コンシェルジュ 子育て支援グループ懇談会	子育て支援コンシェルジュ 子育て支援グループ懇談会	子育て支援コンシェルジュ 子育て支援グループ懇談会			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	37,105	38,623	37,536			
	市民1人当 りの経費(円)	209	219	212			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
子育て支援事業利用者延べ人数	◎	目標値					
		実績値	8,018	11,131			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。			②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。			④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)			⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
子育て支援事業	23,194千円	①効率性	△	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要	子育て家庭に情報提供をするための子育て支援コンシェルジュや、児童の安全対策を図るためのこども安全パトロール員の配置及び子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	こども安全パトロールについて、平成22年度実施の事業仕分けの対象となり、「民間」(地域ボランティア等の活用)での実施が望ましいとの評価を受けた。					
課題解決のための取組	子育て支援施設の巡回及び周辺のパトロールに特化するのではなく、地域の安全向上を図る視点から捉え、防災安全部で実施している防犯アドバイザー事業と統合して実施することとした。					
未解決の課題	「次世代育成きらきらプラン後期計画」の重点取組の一つである「居場所の整備」について、「一日冒険遊び場」の常設化や、親子が集える場等を検討する必要がある。					
今後の方針	「一日冒険遊び場」の常設化について、開催場所やプレイリダーなど具体的な手法を検討する。また、既存の施設や公園等を有効活用し、親子が集える場の整備について検討を行う。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ <input type="checkbox"/> 事業完了	課長名	こどもみらい課長 相澤 達彦

